

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	情報処理	大塚 敬義	1 年次	春・秋

授業のキーワード	情報処理、コンピュータ、IT、リテラシー、情報システム
授業の概要	短大で学ぶべき“情報処理論”について体系的に学ぶ講義です。
期待される学習成果（目標）	情報という言葉の本質的な理解、情報処理の仕組み、情報技術(ICT)の構造と役割、ICTに基づく情報システムの役割と活用方法を理解することができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	PC 実習(1)	講義概要・運営方法、短大 PC の利用ルール、新短ネットの利用方法、SNS の仕組み	第 9 講	小テスト②&コンピュータの仕組み(1)	ハードウェアの構造(入力・出力装置)
第 2 講	ミニレポート(1)&PC 実習(2)	電子メールの構造理解、メール初期設定、ネチケット	第 10 講	コンピュータの仕組み(2)	ハードウェアの構造(CPU、記憶装置)
第 3 講	ミニレポート(2) & 情報とは何か(1)	情報とは何か、Wikipedia の仕組みから考える情報と ICT の関係	第 11 講	コンピュータの仕組み(3)	プログラムとソフトウェア
第 4 講	情報とは何か(2)	情報と情報処理、インフラとしての ICT と現代社会の仕組み	第 12 講	小テスト③&コンピュータの仕組み(4)	パケット通信とルーティング
第 5 講	ミニレポート(3)&IT と情報システム	コンビニエンスストアの業務と IT、情報システムとは何か	第 13 講	ICT 社会の今後(1)	サイバー犯罪の現状と情報セキュリティ
第 6 講	小テスト(1) & 情報技術の基礎理論(1)	デジタルとアナログ、ビットによるデータ表現、情報の単位	第 14 講	ICT 社会の今後(2)	今後の ICT 社会において必要となる知識と考え方
第 7 講	情報技術の基礎理論(2)	n 進数、基数変換、文字データの符号化	第 15 講	まとめ	まとめ
第 8 講	情報技術の基礎理論(3)	画像／音声データの符号化、情報伝達の仕組み(メディアとプロトコル)	定期試験		第 13 講で課題を呈示し、レポートを定期試験時に提出。定期試験も実施します。
評価方法	1.受講態度、取組状況、貢献度 (30%)。2.提出物、発表、試験 (70%)。『PC パス①』と『PC パス②』の取得を義務付けます。成績判定時に PC パスを未取得の方は単位を認定されません。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
1.魚田勝臣編著／渥美幸雄・植竹朋文・大曾根匡・森本祥一・綿貫理明著：「コンピュータ概論 ―情報システム入門― 第【6】版」，共立出版（2014） 2.『新島学園短期大学パソコン活用テキスト』（入学時に配布、PC パスの教科書も兼ねています）			1.『情報おなげビットなのか』，矢沢久雄著，日経BP社 2.『コンピュータおなげ動くのか』，矢沢久雄著／日経ソフトウェア監修，日経BP社 3.『あなたはコンピュータを理解していますか？』，梅津信幸，ソフトバンククリエイティブ		